

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援施設放課後等デイサービス ぱれっと				公表日		令和7年 3月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・物をなるべく下に置かないようにしている ・集中力が切れる場合には別部屋にて対応を行っています ・決してゆとりのあるスペースではない為、床を広く使えるように物を置かない様にしています	法令を遵守したスペースを確保しています。収納スペースを上手く利用したり必要最低限の物しか置かない工夫を今後も継続して行います			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		・ 児童指導員や指導員を常時4人以上配置しています	児童指導員や指導員を常時4人以上配置しています。幼稚園送迎などが重なり人手が足りなくなる為系列の店舗と協力しています			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・ 児童がわかりやすい配置、掲示物は必要最低限のものしか貼らないようにしている ・ 室内は段差のない作りになっていて、扉も引き戸にリフォームしている。玄関には段差があります。玄関に手すりの配置はしていません ・ トイレに手すりをつけました	バリアフリーが必要な児童がいない為、今は検討していませんが必要に応じて対応をしていきます			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・ 毎日床、壁、扉、おもちゃなどの消毒や清掃を行っています				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・ 月に2回のミーティング時に職員全員で振り返り、改善を話し合っています				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		第三者による外部評価は行っていません			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・ 事業所内研修を月1回行っています ・ 外部研修にも開催のお知らせがあれば意欲的に参加しています	今後も継続して事業所内研修を行い、外部研修にも意欲的に参加していきます			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・ アセスメント、モニタリングを行い保護者からの意見や要望を把握した上で計画を立てています ・ 担当者も必ず目を通し、計画を立てています				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6						
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・ 個別支援計画に沿った支援を心掛けています				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・ 児童の個別に合わせた必要な項目を選択し、支援内容を設定しています				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・ ミーティング時では一人一人に意見を求め、話し合いプログラムや支援の仕方、活動の進め方等共通の目標を持って取り組む事を目指しています ・ 月案の担当者が活動内容を考え、年間行事予定等も職員全員で決めています				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・職員全員から案を出してもらうなど、固定化しない様にしています ・様々な季節に沿った取り組みを考え、無理のないように実行しています	子どもたちのニーズや季節に応じた活動を設定していますが、今後も工夫していきたいです
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・その子にあった目標を設定して、計画を作成しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			連絡事項、当日の予定などを確認し合っています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			良かった点や反省点などを話し合っています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・支援経過記録の記入の仕方に関しての研修などを行い、第三者にも伝わりやすいよう記録をとっています	記録は毎日正しくその日の子どもたちの様子を書き記しています
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・中間評価の時期や個別支援計画の更新の時期に必ず実施しています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・児童発達支援管理責任者や児童担当者が参加しています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・送迎に行った際には必ず体調面や何か変化がないか確認しています ・移行先や保護者の要望に応じて情報の共有を行っています	その日の様子や体調面は都度確認し共有していますが、支援内容については保護者の許可を得た上で情報の共有を必要に応じて実施していきます
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		積極的に児童館や公園などに足を運び、交流出来る機会を増やしていきたいです
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・保護者の生活状況により多少の差はありますが、子どもの様子や頑張っている事などを出来る限り伝えるよう努めています	今後も継続して状況を伝えるように努めています
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・面談や相談は必要に応じて行っています	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・事業所内に掲示しています。契約を結ぶ際に説明をしているが質問や不明な点があれば都度説明をしています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・悩みや相談を聞き、親身になって出来るだけの助言やいきすぎないアドバイスをするようにしています	保護者の方から悩みや相談を打ち明けられるように普段から保護者の方々との関係性を築くよう努めています
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6		各家庭の事情を考慮し保護者会は設けておらず、父母同士の接触はありません
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			相談窓口を設置し、契約時に周知・説明を行っています。相談や申し入れがあればその都度対応をしています
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・年間行事予定表や月1回の通信を発行し、保護者にお知らせをしています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報法に基づいて管理しています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・注意深く、わかりやすく伝わるように配慮しています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		地域住民との交流はあまりありませんが、今後は地域連携に努めていきます
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・職員には周知しているが、保護者への周知が不十分な為、現在ホームページで公開しています	毎月発行している通信にてマニュアルを公開している事をお知らせします
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・3月、6月、12月に子どもたちを含めての訓練を実施しています	訓練を行う際は通信や連絡帳、送迎時などで保護者にお知らせします
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・保護者が記入する「健康の記録」により把握している。また、必要に応じて聞き取りも行っています	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・アレルギーがある子どもの保護者から指示書のコピーの提供をお願いしています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・毎月作成し、全職員で共有しています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・年1回外部の先生が配信している研修を事業所内で行い、社内研修でも実施しています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・やむを得ず身体拘束を行う時には条件を決め、保護者の方に説明し了承を得るようにしています。現在対象の児童はいませんが全ての個別支援計画に記載をしています	